

と自ら稱し、共産党の外核的組織關係を公然と明
示して進む舊党本部今後の労農同盟の運動が、今
後益々大衆と迷離し、大衆と浮き離れた觀念的極
左的革命家の一団として、やがて自滅の運命をた
どるであらうことは、今や火を見るよりも明かだ
あり、我等が茲に断然と絶縁する所以である。
以上の見地に立つ我等は、舊労働農民党解散以
来十ヶ月、舊党本部が執り来た虎の再組織運動
を冷静に批評に批判研討することにより、その根
本的誤謬を大膽に清算して、茲に再び大衆的左翼
共同戦線党を組織するものである。

さらば我等は進む。
吹き荒れる反動の嵐を衝いて、再び左翼共同戦
線党の旗を高く掲げ、労働者、農民を始め全無産

大衆の日常生活の一切の利益を代表して、血みど
ろの戦場を進む。
結党と共に、敢て全労農無産大衆に宣す。

昭和四年 一月十七日

労農大衆黨創立大會